

<毎年 11 月第 3 木曜日は、国際連合が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です>

2020 年 11 月 19 日(木)

<主催者挨拶>

「哲学なくしてユネスコなし、今、哲学しよう」

— 価値・意味・秩序 —



開倫ユネスコ協会
会長 林 明夫

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃よりユネスコ活動へのご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「哲学なくしてユネスコなし」との考えのもとに、毎年 11 月第 3 木曜日に「ユネスコ世界哲学の日 (UNESCO World Philosophy Day)」の活動がパリのユネスコ本部をはじめ、世界各地で開催されます。

開倫ユネスコ協会では、スプリングユネスコクラブ、伊豆ユネスコクラブと共催で、コロナ禍の中ではありますが、本年も栃木県宇都宮市の栃木県庁前の栃木県総合文化センターと東京都墨田区曳舟文化センターの 2 会場において、2020 年 11 月第 3 木曜日の 11 月 19 日に「ユネスコ世界哲学の日」講演会を、「今、哲学しよう— 価値・意味・秩序 —」を統一テーマとして開催いたします。

お忙しい中、ご祝辞を賜ります開倫ユネスコ協会名誉会長・外務大臣で衆議院議員茂木敏充先生、前文部科学副大臣参議院議員上野通子先生、衆議院議員船田元先生、宇都宮会場で講演を頂きます作新学院大学学長渡邊弘先生、東京会場で講演を頂きます北海道大学新渡戸カレッジフェロー多田幸雄先生、東京新聞読者部編集委員鈴木賀津彦様、伊豆ユネスコクラブ代表小林恵智先生、そして、会場およびズームでご参加くださいます皆様に、主催者を代表して、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

「今、哲学しよう」とは、「ものごとの価値(大切さ)」とは何かを自分の力で考えた上で、自分自身にとっての「意味」を考え、「意味付け」を行った上で「やるべきこと、やらないこと」を自己決定、秩序ある行動をすること。この前提が、自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」であると考えます。この「ユネスコ世界哲学の日」を契機に、ものごとの「価値・意味・秩序」を考え、「今、哲学しよう」という気運が高まるのが、コロナ禍で混迷を深める世界や日本、地域の課題解決や平和の創造に欠かせないと思います。

「哲学なくしてユネスコなし」です。今日、この日から哲学してまいりましょう。